

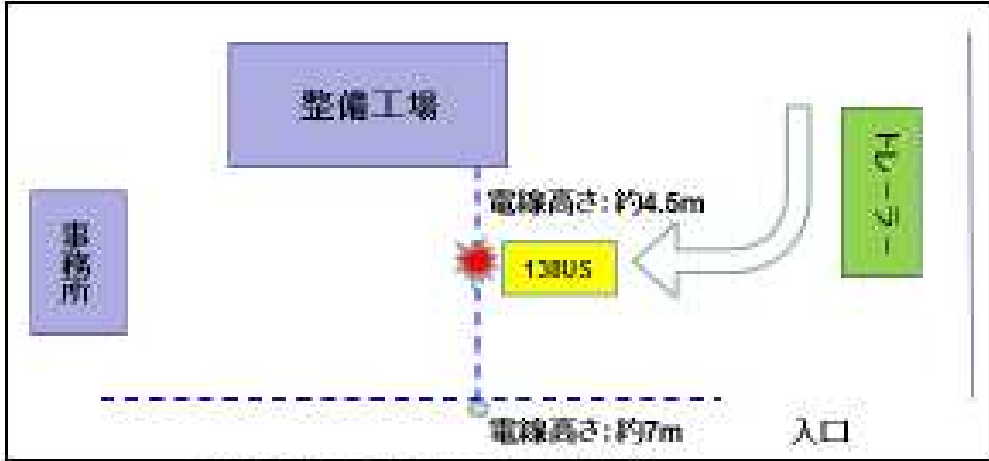
事故事例KYT資料 Vol.3 (3月)

2017年3月  
発行：コマツ物流株式会社  
現場物流部・安全物流部

## 構内電線切断

- 発生日時： 2015年 5月22日(水) 16時00分頃
- 発生場所： コマツ物流販売(株)関東カンパニーOO支店構内
- 事故当事者： 所属：□□□運送(株) 職種：運転手  
年数：46歳 勤続年数：14年 経験年数：14年  
免許取得・技能講習受講歴：25年経過  
社員区分：□定職社員 □契約社員 □派遣社員 □その他( )
- 事故概要： 作業名：建設機械運送  
作業・安全確認書の有無：□ 有 □ 無  
  
PC138US-6 車30529 ロングアーム仕様をコマツ物流販売(株)関東CAA支店からOO支店までトレーラーで輸送した。  
OO支店で降卸し後、納入先担当者から当該構内の移動を依頼され、降卸し場所から指定場所までアームを立てて自分で移動する際、車上から4.5mの高さに設置してある電線をアームで引っ掛け、引き込み線を切断してしまった。  
乗員は無し。アームに電線の接触による火災の発生はなかった。  
※トレーラー運転手は、OO支店に入出入りするの初めてのであった。

5. 状況写真 (写真が無い場合ポンチ絵でも可) :



※現場員は降卸完了後、直に退場しておりいなかった。

### 事故の原因はどこにありますか？

KYT実施協力会社様回答より抜粋 (8社)

- ① 構内に慣れていないドライバーが自走した
- ② 依頼書に電線注意と記載があれば良かった
- ③ 構内で油断した
- ④ 周りの状況(4.5m電線)を把握していなかった
- ⑤ PC運転に精通しておらず、ロングアーム構造が不明のまま走行した為、高さ4.5mの電線を切ってしまった
- ⑥ 初めての現場で慣れていないのに、構内移動を引き受けた
- ⑦ ロングアームなので、ある程度下げればよかった
- ⑧ 構内移動の為、気の緩みから安全確認をしなかった
- ⑨ 配車担当者が構内の注意事項を把握していなかった

### どのような対策が考えられますか？

KYT実施協力会社様回答より抜粋 (8社)

- ① 構内に慣れている支店の人が自走すれば良かった
- ② アームとアームの格納を徹底する
- ③ 初めての場所は前後上下左右確認する
- ④ 構内移動はなるべく密着で行ってもらい、どうしても移動する時は誘導を密先にお願りする
- ⑤ 移動する前に構内の危険箇所を確認、実機の高さを実測し安全を確認する
- ⑥ 初めての構内移動は自己判断しないで担当者に指示を仰ぐ
- ⑦ 一回りして危険を確認する事
- ⑧ 配車担当者から構内注意事項を依頼書に記載し、注意喚起する

コマツ物流より

道路を横断する架空電線は6m以上と決められています。しかし、構内の配電線は特例があり、幅5m以下の道路横断の電線高さは4m以上と低くなります。構内の電線は建物の高さに左右されるので、注意が必要です。この事故も高さ7mの電線から工場内引込で4.5mと高さが低くなっています。周囲の安全確認でどうしても見落としがちなのは上空です。

建物の周辺では引込線やヒサシなどに十分注意し、建機本体だけでなくアームやアームが接触する危険性を常に認識して欲しいと思います。

天倉